

ちがさき・さむかわこどもファンド 通信

2023年4月15日発行

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

★ ちがさき・さむかわこどもファンドはこどもたちのチャレンジを応援します ★

～こどもファンドがめざすもの～

- ♥ こどもたちが自分で考えて動き、未来を創る自分のチカラに気づく。
- ♥ ほかの人と協力して、まちをよくしていく楽しさとワクワク感を知る
- ♥ 将来のまちを支える人になる

Topic 1 3月11日活動発表会を開催しました

昨年7月の公開審査会から約7ヶ月、活動期間が2月いっぱい終わり、8グループの活動内容の発表会を3月11日(土)に茅ヶ崎市民文化会館のミニホールで開催しました。広い会場がとれなかったため、保護者の皆様が会場に入れなかったことを再度お詫びします。発表会では、各グループがどんなことをしてきたか、その苦労や工夫を発表するために練習してきたプレゼンテーションがとても素敵でした。その様子のほんの一部ですが、お読みください。

①なくそう交通じこチーム

梅田小学校の通学路はとても危険なので、私たちは低学年に向けて「危ないことをしている中・高学年のまねをしないこと」、そして高学年に向けて「道路に飛び出したりして危ないことをしないこと」を訴えるポスターをつくりました。それをまわりの店舗などに貼ってもらうことで、小学生に注意してもらえたらいいなと思いました。20カ所ものお店にポスターを貼ってもらえました。



②チーム6-1

私たちは海岸の美化活動をテーマにベンチづくりに取り組みました。最初ベンチを砂浜に置こうと考えましたが、それは無理だとわかり、地域の人に海の大切さを伝えようと思いました。



プラごみの話やベンチの作り方など、たくさんの人に教えてもらって、海岸の砂とプラごみで装飾したベンチが完成し、それをつるみね通りの不動産屋TIES ESTATEさんの店先に置かせてもらいました。



③海を守ろうプロジェクト

私たちは海岸のごみの中からマイクロプラスチックを取り出し、アクセサリをつくり、普段から身につけるうことでごみへの意識を高めてもらおうと思いました。具体的には、海岸でごみ拾いをして、ごみからアクセサリを作るワークショップで、3回、29名の方に参加してもらい、ヘアピンやキーホルダーをつくりました。楽しい目的があることで、ごみ拾いも宝物探しのようになり楽しみになりました。



④未来へつなげ隊

寒川町のマイナスイメージをなくすためと、街をきれいにすることは楽しいと思える人を増やしたいと思い、ごみ拾いを中心に活動しました。大人アドバイザーとの打ち合わせ、地域の方への挨拶や役場への申請などの準備をして、第1回クリーン大作戦を11月11日に、第2回を2月21日に行いました。参加した人は楽しくごみを拾っていました。町の人からは感謝の気持ちをいただきました。

⑤美しい茅ヶ崎を目指してプロジェクトC

海のごみについて興味を持ち、サザンビーチを清掃する活動をしました。まず、サザンビーチの現状を調べ、砂浜にごみがたくさんあり、サイクリングロードの砂が積もって通りにくいことがわかりました。そして、清掃して集めたゴミを分別し、プラごみは洗って資源ごみにし、タバコの本数を調べ、どんなゴミが多いか分析しました。その結果や4コマ漫画を載せたポスターをつくり、校内に貼りました。



⑥茅ヶ崎しぜんたい

茅ヶ崎というと海をイメージする人が多いですが、私たちは森や里山に注目し、茅ヶ崎市内の公園に自然保護を訴える看板の設置を目指しました。設置場所は中央公園、茅ヶ崎公園、市民の森の予定です。2月27日に茅ヶ崎市公園緑地課との打ち合わせを行い、風で飛ばない設置方法が問題となりましたが、麻の紐で結ぶことを提案し、いっしょに検討することになりました。



⑦ ShoNanスマイリー



茅ヶ崎市はふるさと納税で6億円もの損をしていることを知り、クラス内でそれを解決する「ふるさと納税プロジェクト(FNP)」を始めました。

他市の返礼品の人気の秘密を調査し、「もの」では他市に勝てないと考え、「コト」を提案しようと決めました。茅ヶ崎市に返礼品としていくつか提案し、3つの「コト」が採用されたほか、Ryu Ambeさんにふるさと納税のロゴを作成してもらいました。

⑧ 音楽で元気届け隊

ピアノ教室に集まる有志が、音楽の出前をする活動を始めました。練習を重ねながら、チラシ、ポスターをつくり、8月に長谷川楽器店で成果発表を行い、11月にはユニバーサル音楽祭に出演し、12月にはクリスマスコンサートを行いました。1月には老人ホームで、2月には保育園で出前演奏を行いました。小さい子からおじいちゃんおばあさん、障害がある子まで参加して楽しんでくれました。

⑨ 表彰式

それぞれの団体にどんな賞がふさわしいかを子ども審査員が考えて表彰状を手渡しました。。

・なくそう交通じこチーム

【交通じこがすくなくなるで賞】

・チーム6-1 【クラス一丸となれたで賞】

・海を守ろうプロジェクト

【作品をたくさんつくれたで賞】

・未来へつなげ隊

【たのしくゴミをひろえたで賞】

・美しい茅ヶ崎を目指してプロジェクトC

【雨に負けなかったで賞】

・茅ヶ崎しぜんたい

【自然を守れたで賞】

・ShoNanスマイリー

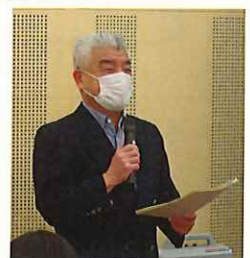
【茅ヶ崎を再発掘してくれたで賞】

・音楽で元気届け隊

【音楽で元気を届けられたで賞】

⑩ 卯月先生のコメント

最後に、子どもファンドの大人アドバイザーでもある早稲田大学の卯月盛夫教授から今回の子どもファンドの取り組みについてコメントをいただきました。「茅ヶ崎・寒川の特長の一つは小学生の応募が多かったこと。他市では中・高



校生中心の活動が多いのに対して、海のごみを何とかしたいということもたちの思いが伝わってきた。それから、他市が行政主催なのに対して、茅ヶ崎・寒川では民間のNPOが主催で、大人のサポート体制がしっかりしているということ。子どもの活動を支えたいという思いが伝わってきた。初年度の活動としてはとてもすばらしく、感動しました。」



Topic 2 活動発表会を終えて

活動発表会に参加した子どもたちに渡したコメント用紙には、びっしりと子どもたちの感想が書かれていました。その中からいくつか紹介します。

- ・今回の子どもファンドで、「協力」することが改めて大切なことだと思いました。相手の意見を「尊重」することも大切だと思いました。
- ・自分の意見を相手に伝えることがあまり得意ではなかったけれど、子どもファンドでせつめいしたり、提案をするきかひが多かったから、少しずつできるようになってよかったです。
- ・私はこの子どもファンドを通して、うまくいかないことにたいしての改善の仕方を学ぶことができました。そして、ものごとを決めるときにチーム内で意見が割れたときは、一つ一つ条件を見出し、それに合うことがらを決めることができるようになりました。
- ・子どもファンドに参加してみて、人との関わりの大切さを実感することができました。

Topic 3 こどもファンド・今年度の予定

ちがさき・さむかわ子どもファンド2年目は、茅ヶ崎市と茅ヶ崎市教育委員会、寒川町と寒川町教育委員会の後援をいただいてスタートします。今年度の助成は、1年目の反省を生かして「子どもファンドでなければできない活動」10件程度を想定しています。応募チラシも合わせてご覧ください。授業の一つかどうかなど、ご不明な点は、お気軽にご相談ください。ご応募をお待ちしています。

活動団体と子ども審査員：募集期間 2023年4月15日～6月10日

子どもファンド説明会 5月7日（日）と 5月13日（土）

ともに14:00～15:30、茅ヶ崎市民文化会館会議室

公開審査会 7月16日（日）茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

活動発表会 3月16日（土）茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

【発行元・問い合わせ先】 特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

TEL：080-6255-7546 Mail：sapochiga70@gmail.com

URL <https://sapochiga-mirai.com/childrens-fund/>

